

## 教職員の信用失墜行為の撲滅に向けて、さらなる強化を!!

### ～「当事者意識の高揚」と「風通しのよい職場づくり」で 危機意識を高めましょう～



自覚と責任をもつて

新型コロナウイルス感染症の予防に向け、さまざまな感染症対策を講じながら、工夫ある学校経営や子供たちへの指導についてご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

学校行事や学習活動等が本格始動し教職員の皆様も新しい学校、新しい学年や担当等にも慣れ、それぞれの持ち味を発揮しながら子供たちの指導に当たっていただいていることと存じます。しかしながら疲れや慣れによる気の緩みなどから、交通事故の増加やコンプライアンス上の課題が生じがちな時期でもあります。改めて「3ない運動（飲酒運転・体罰・セクハラ）」+2（個人情報漏洩防止・公金不正取扱防止）に加え、交通事故・違反の防止についても心に留め、「子供たちの前に立つ」という自覚と責任をもち、自己点検や相互の声かけなどにより学校事故の防止に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

今回は、茨城大学大学院准教授の金丸隆太先生の講話から、当事者意識を高めるためのポイントをご紹介しますので、各学校でも話題に取り上げてほしいと思います。

#### ○ 当事者意識を高める

- ・「自分も同じ立場だったら同じことをするだろう」という想像力をもつこと
- ・自分の中にある「悪」を認めること
- ・「自分は絶対にやらない」という「不祥事を起こさない自分」を強くイメージすることは、当事者意識を弱める。
- ・「悪事が見つからないと思ったら、自分はどうするだろうか」という人間的な問いが必要

#### ○ 「人は誰でも悪いことをする」ことを自覚する

- ・教職員になったから不祥事の当事者になったわけではなく、生まれてきた時点で誰もが不祥事の当事者だということを自覚する。

## 春夏冬話「あきない話」コーナー

### 「生涯の思い出に」

大型連休が終わり、各学校では本格的な教育活動が動き出す時期です。

今年は例年より早い梅雨入りが予想されますが、そんな天気になげずに遠足や運動会などの学校行事が始まっていることでしょう。

子供たちにとっては、学校行事を通して友達をつくり、自ら成長する大切な時間です。新採の先生方にとっても、初めての学校行事で子供たちや同僚との絆を深める有意義な時間です。

今年度もコロナ禍の中で、とても大変な思いをされていることと思いますが、是非、学校行事が子供たちにとって生涯の思い出となることを願っています。(by H・K)

